

鴨川探検！再発見！第66弾

区分：講師派遣

日時：2023年5月27日（土）10時～12時

場所：京都市左京区鴨川左岸

天候：晴れ

主催者：京都府河川課

参加者：大人6名、子ども6名

当会参加者：4名

好天に恵まれ申し分ない観察日和となった。観察地に向かう前に諸注意などがあり、「鴨川での観察が終わったら、部屋に戻りラミネーターでしおり作りをするので、皆さん色々な色の草花集めておいてください」とアナウンスされた。

男の子は捕虫網と虫かごを持って来ていて、モンシロチョウが飛んでくると網を振り回していたがなかなかうまくいかないので、「花の蜜を吸うため、花にとまった時がチャンスです」とアドバイスした。

子供たちは視力がいいので、かなり小さな昆虫を見つけてくれたが、1mmほどの虫で何の仲間なのかもわからない。

時々しおり作りのための黄色や赤、青、紫などの花を見つけたら摘むよう促し、チャック付きの袋に入れてもらった。

シャリンバイが植えられたところへ行くと、カタツムリが乾燥した日だったので、じっとしていた。

「梅雨の時期に入り、雨が多くなると喜ぶんですね」とのコメント、まさにその通り。

シャリンバイの葉には、いくつものテントウムシのサナギがあつて、その中の一つが奇妙なものに見えたので、「これなんでしょう」という質問に、しばらく目を凝らして見ているとわかった。「サナギから成虫になる瞬間という珍しい場面に出会うことができましたね」と説明した。

皆さん熱心に細かいところまで、観察されるので、だんだん時間が押してきたので、今日のメインの10円玉磨きの場所へと移動し、カタバミを採集し、さっそく10円玉を取り出し、作業を開始したが、手の動きが子供たちは逆だったため、うまく磨けない。保護者の方が「葉っぱを持って、力強く10円玉にこすりつけるんや」と教えていた。

オトシブミのポイントでは、どのような虫がこれを作ったのかを話し、さらにクマゼミの産卵痕を見もらった。

最後に部屋に戻ってしおり作りを始め、それぞれが取ってきた花などでラミネートし、しおりをいくつも作り、作り出すと止まらないものだ。みなさん満足だったかな。



文責（弓削俊彬）



カタバミの葉で10円磨き、オトシブミの観察と紙芝居による説明、鴨川の生き物を満喫！

ビンゴカード全部丸をしたよ
すてきなしおりができました

